

平成30年度 西紀小学校経営方針

篠山市立西紀小学校

1 学校経営の基本方針

本年度から小学校学習指導要領の移行、先行実施期間となる。改定の理念や主旨をふまえ、兵庫の教育基本理念「兵庫が育む、こころ豊かで自立した人づくり」や篠山市の教育理念「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」の方針に基づき、「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」の調和のとれた教育活動を展開し、21世紀を担うこころ豊かで自立したたくましい児童の育成をめざす。

- (1) 命と人権を大切にし、互いに認め合い、ともに生きていこうとする態度を育てる。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の充実に努め、進んで学ぶ意欲や態度等「学びに向かう力・人間性」を育て、確かな学力の向上をめざす。
- (3) 家庭や地域社会との連携を深め、人との交流や体験を通した学びを重ね「生きる力」を育む。
- (4) よりよく生きるための基本的な生活習慣の定着に努めるとともに、いじめを許さない安全安心な学校づくりをめざす。

2 教育目標

ともにわかる喜びが実感できる子の育成
～ 地域とともに こころ豊かに たくましく ～

(1) 「確かな学力」を育てる【ともにわかる喜びが実感できる子①】

基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成に努める。主体的に学習に取り組む態度や自立的に生きる力を育て確かな学力の向上に努める。キャリア教育の推進充実が重要視される今、「知識」「技能」「思考力」「判断力」「表現力」などの「学んだ力」を身につけるとともに「あきらめない力」や「進んで取り組む力」など「学習意欲」や「学習習慣」など「学びに向かう力」の育成に力を入れる。

(2) 「豊かな心」を育てる【ともにわかる喜びが実感できる子②】

様々な感情の体験が、人を豊かにしていく。「うれしい」「たのしい」というような体験だけでなく、「苦しい」「つらい」「悲しい」などの体験もまた「豊かな心」を育てる。日々の暮らしの中で生じるつらい感情に寄り添い、児童の内面を共感的に理解することが重要である。子どもの悲しみが「わかる」。友だちの痛みが「わかる」。わかり合える仲間がいたとき、前向き力がわきでる。他者との「共生」を大切にし、互いのよさや違いを認め合いながら共に活動することがこれからの社会を切り拓く「生きる力」につながる。

(3) 「命と人権」を守る【安全で安心な学校をつくる】

児童が安心して学校生活を送るために、やさしいまなざしで子どもたちに接することが基本である。一方、時にはやさしさに裏付けられた厳しさが必要な時もある。笑顔の力を信じると

ともに、表情の変化が効果的な指導に結びつくということを自覚し、笑顔の日常生活に心がけたい。良好な人間関係が児童の安全安心につながり、そうした姿勢こそがいじめを許さない学校づくりにつながる。

事故ゼロをめざす教育活動の推進に努めるが、けがや事故をゼロにすることは困難である。大きな事故の背景には小さな事故があり、小さな事故の背景にはヒヤリハット事例がたくさんあるというハインリッヒの法則を常に念頭におき、軽微な事故を見逃さない危機管理意識を常に共有する。

(4) 「ふるさと西紀」を誇りに思う【にしきをかざる】

学校・家庭・地域との連携を深め、西紀の「人・自然・まち・歴史・伝統等」に進んで関わり、その良さに気づく。と同時に「ふるさと西紀」を誇りに思い「ふるさと西紀」を大切にしていこうとする意欲を育てる。保護者・地域の声に耳を傾け、願いに寄り添い、信頼関係を深める努力を惜しまない。

来校者に対しては、常におもてなしの心で接することにより、地域や関係機関との信頼関係はいつそう深まる。社会に開かれた教育課程の実現のためにも、学校は、不審者対応という危機管理を常に念頭におきつつ「敷居は低く、鴨居は高く」開かれたものにしたいためである。

3 めざす児童像

に こにこ笑顔で あいさつができる子に

- ・思いやりの心を持ち、多様性を尊重し、自分も友だちも大切にすること
(言葉遣い・共に遊ぶ・助け合う・自己肯定感をもつ)
- ・基本的な生活習慣を身につけた子(話す・聞く・後付け・時間厳守ができる)
- ・人も西紀も学校も好きな子(規範意識・礼儀・挨拶・感謝の心をもつ)

し しっかり考え 主体的に 進んで学ぶ子に

- ・夢や目標を持ち、意欲的に一生懸命に学ぶ子(学びに向かう力・人間性)
- ・基礎・基本の定着した子(知識・技能)
- ・課題解決できる子(思考・判断・表現)

き きたえよう 心も体もしなやかで たくましい子に

- ・心身ともに健康で、西紀の新たな伝統と文化を築く子
- ・意欲のある子(勉強・練習・仕事をがんばり、挑戦する心をもつ)
- ・粘り強く最後までやり通す子

4 めざす学校像

- 子どもにとって「学びたい大好きな学校」
- 保護者にとって「通わせて安心な学校」
- 地域にとって「地域の誇りに思える学校」「ふるさととなる学校」
- 教職員にとって「働きがいのある、働きたい学校」「地域とともにある学校」

5 めざす教職員像

- 教育に情熱をもち、常に謙虚に自己研鑽に努め、資質向上をめざす教職員
- 組織（チーム）としての力合わせを強化し、協働して高め合う教職員
- 教育の専門家として使命感・責任感のある教職員
- 誇りと自覚、そして、愛情をもつ教職員
- 子どもとともに学び、ともに育ち、授業力・指導力を発揮できる教職員
- 子どもから尊敬され、保護者や地域から信頼される教職員

6 本年度の重点目標

- (1) 豊かな人間関係や人権感覚の育成に努め、安全安心な学校づくりを推進する。
 - ・ 事故や怪我が起こらない安全な学校づくりの推進
 - ・ いじめや体罰を許さない安心できる学校づくりの推進
 - ・ 自尊感情、自己肯定感を育てる道徳教育の充実、推進
 - ・ 児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導・合理的配慮ができる特別支援教育の充実、推進
- (2) 言語活動を充実し、確かな学力の定着を図る。
 - ・ 基礎的基本的な知識・技能の確実な習得とそれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の育成
 - ・ カリキュラム・マネジメントの確立と「学びに向かう力・人間性」を育む授業の工夫改善
 - ・ 学習習慣、学習規律（腰骨を立てる）の定着と「西紀スタンダード（学習習慣）」の徹底
 - ・ 学力の課題把握による個に応じたきめ細やかな学習指導の推進
 - ・ 保護者との連携協力による家庭での「西紀っ子スタンダード（生活・学習習慣）」の向上
- (3) 望ましい生活習慣の定着等、よりよく生きようとする西紀小学校の学校文化を築く。
 - ・ 「あ」から始まる学校生活の定着
 - あいさつ・・・元気にあいさつする
 - あつまり・・・時間を守る
 - あとしまつ・・・しっかり掃除をする
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん・コミュニケーション」の定着
- (4) 家庭や地域との連携を深め、「ふるさと西紀」を誇りに思う態度を育む。
 - ・ 地域の人材や教材を活用した食育、ふるさと教育の推進
 - ・ 地域に開かれた信頼される学校づくり、コミュニティ・スクールの推進充実

7 校内研修の方針

- 研究テーマ
「自分の考えを持ち、伝え合い、学び合う子の育成」
ー子どもが言葉でつなぎ、深まる話し合い活動ー

※ 西紀小学校の合い言葉 「にしきを かざる」